



時計台

小林市立永久津小学校 校長通信

令和7年5月8日 第63号 (文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3515 E-mail: nagakutukko@miyazaki-c.ed.jp

4月の参観日には、多くの保護者の方に来ていただき、皆さんの学校への関心の高さや協力体制の強さを改めて感じました。そして何より、お子さんへの愛情の深さも…。子どもたちが授業中におうちの方を探して、目が合うとにつこりする様子を見て、私も幸せな気分にさせていただきました。

子どもたちのSNSのトラブルに「返信の遅れ」が取り上げられることがあります。一対一の場合はまだ救われますが、これがグループチャットになると、しばらく目を離すと自分の批判で盛り上がりをつけていくなど思われることも…。だから、みんな四六時中スマホが手放せないらしいのです。

では皆さん、送った相手の返信がなかなか来ないとき、どんな気持ちになりますか。

① こつちは返事を待つているのに何してんだつ！

② もしかして嫌われている？ 私、何かした？

③ きっと忙しいんだな。

相手や場合にもよりますが、私などは①に近いことが多いかもしれません。普段はこれども、返事が欲しい時に返信がないのに、返事が欲しい時に返信が来ないと、イライラ気味に何度もスマホを確かめます。

と、人は目の前に起ることを受け止めたり、次の行動を起こしたりするときに、自分のフィルターを通して判断するそうです。このフィルターが一人一人違うというわけです。単純にいうと「ネガティブ」か「ポジティブ」かの二つ先の例でいうと①や②はネガティブ、③は、ポジティブに分類され、当然ですが、次に起つて行動にも違いが現れます。①だと、何かトラブルが起きそうだと想像できますね。

②は、待っている本人が心配です。場合によつては体調が悪くなるかもしません。

③は次の行動も必要あります。何も起こらないでしよう。実際にはいろいろな条件が重なりますので、このように単純ではありませんが、自分がどのタイプに近いかを知つておくことは大切です。

「すぐに返信するのが常識」
（こうあるべきという考え方を
曲げない・許さない）
「あの人はどうして自分だけ
相手にしないのだろう」（根拠
のない悲観的な考えに陥る）
「あの人はいつもこうだ」（一
回の経験で一般化する）
「私自身、心に覚えのあること
ばかりです。」
このようなこだわりや決め
つけ、批判的な行動は、良い結
果を生んだ経験がありませ
ん。少しだけ時間をおき、冷静
になれば、何でもないことにな
り、自分自身が苦しめられていた
ことに気が付きます。

時々は少し立ち止まって、
マイナスの考えが浮かんだら
思い返してみる…。根拠のな
い情報に惑わされないために
も、自分の思考のタイプを見
つめなおしてみましょう。

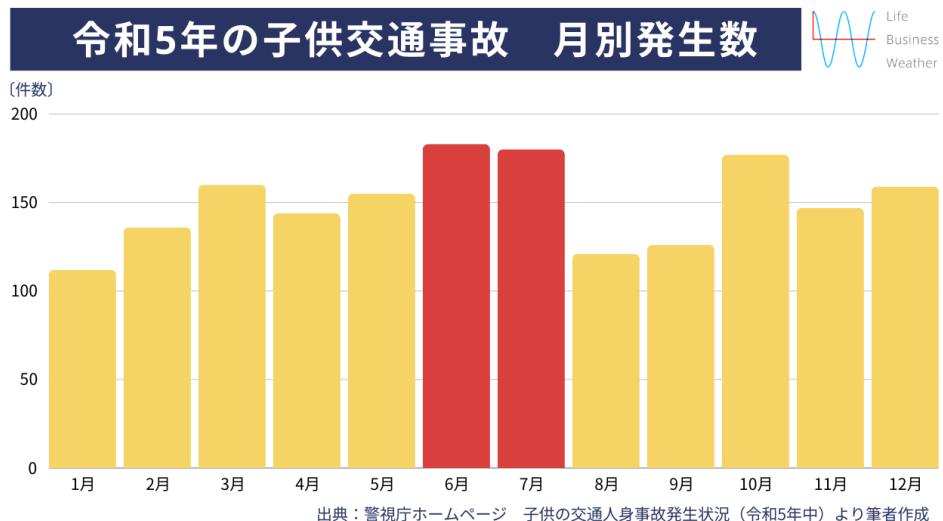
あなたの思考のクセは？

子育ての相談もどうぞ

子育ての相談もどうぞ 安心メールでもお知らせしましたが、学校には子育ての悩みなどの相談を受けるスクールカウンセラーが来る日があります。小さなことでもお気軽にご相談ください。次回は5月30日(金)午前中です。教頭先生までご連絡ください。

「情報スナップ」

子どもの交通事故の特徴



一年のうちで 6・7 月が一番事故発生が多い！

【原因】

- ・1年生が登下校になれる
 - ・あたたかくなって、行動範囲が広がる
- ※この事故のうち7割は自転車に乗っているときです。

命を守るためにも

自転車に乗るお子さんには

ヘルメットの購入をご検討ください。

※ お願い

永久津小学校と「時計台」の関係？

御存じの方があられましたら校長までご連絡ください。

学校 0984-23-3515